かんたん準備ガイド

Panasonic

BD/DVDレコーダー
品番 DMR-BW200

本書はBD／DVDレコーダーをお楽しみいただくために、必要な接続や設定を説明しています。
詳しい接続や設定、操作説明については、別冊の取扱説明書「準備編」、「操作編」をご覧ください。
取扱説明書で参照していただくページは（→◇◇編○○ページ）で表示しています。

●接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
●図中の ━ は付属品、━ は別売品を表しています。

まず、テレビとアンテナにつないでみましょう

お使いのテレビに合わせて ⒶⒷⒸ のいずれかの接続をしてください。

ⒶⒷⒸにあてはまらない場合は、準備編6～17ページをご覧ください。

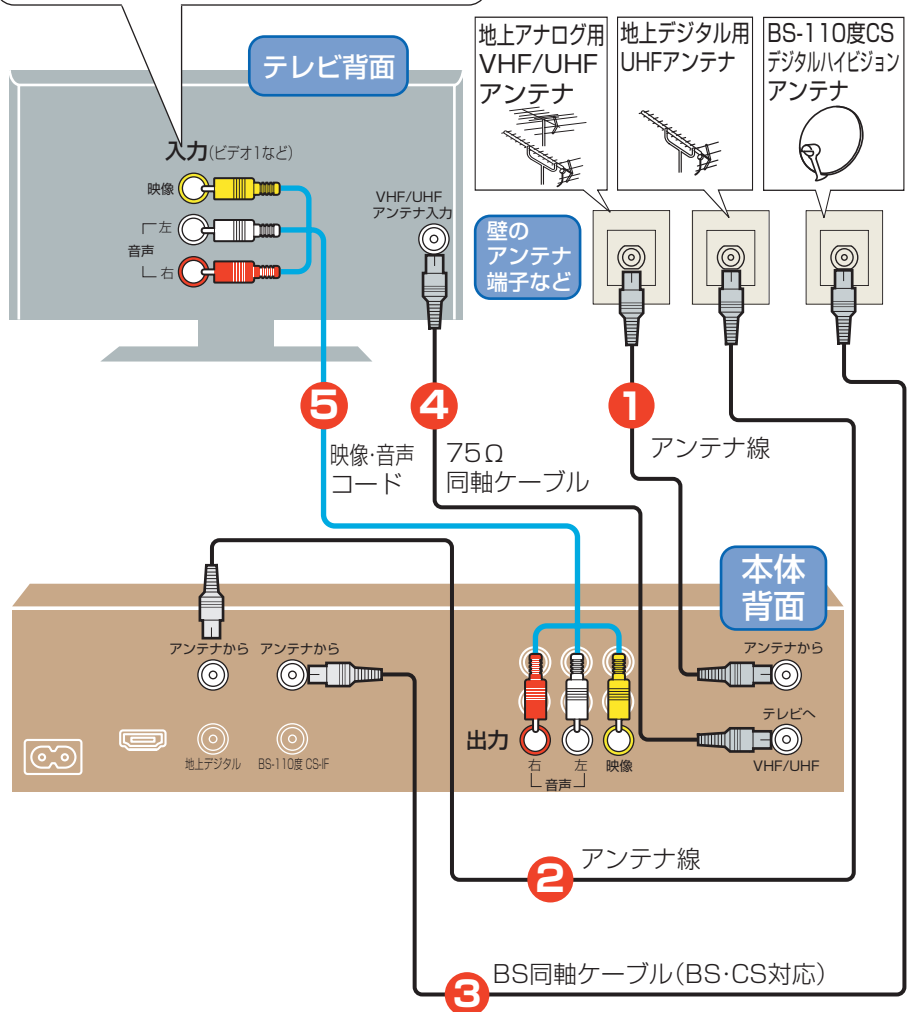
Ⓐ テレビ(地上デジタル・BS・CSチューナー内蔵)とつなぐ

アンテナとの接続 ❶ ❷ ❸ のあと、テレビとの接続 ❹ ❺ ❻ ❼ を行ってください。

HDMI対応テレビをお持ちのお客様は別売のHDMIケーブル1本でかんたん接続ができます。（→裏面「HDMI接続」）
●D映像入力端子を持つテレビをお使いの場合は（→準備編9ページ）

テレビ背面
BS·110度 CS-IF 入力
地上デジタル 入力
入力(ビデオ1など)
映像
左
音声
右
VHF/UHF アンテナ入力
地上アナログ用 VHF/UHF アンテナ
地上デジタル用 UHFアンテナ
BS·110度CS デジタルハイビジョン アンテナ
壁の アンテナ 端子など
❻ BS同軸ケーブル (BS·CS対応)
❺ 75Ω 同軸ケーブル
❼ 映像·音声 コード
❹ 75Ω 同軸ケーブル
❶ アンテナ線
本体 背面
アンテナから
アンテナから
テレビへ
テレビへ
地上デジタル
BS·110度 CS-IF
出力
右 左 映像
音声
アンテナから
テレビへ
VHF/UHF
❷ アンテナ線
❸ BS同軸ケーブル(BS·CS対応)

●マンションなどの共同受信の場合は（→準備編7ページ）

Ⓑ テレビ(アナログ放送のみ対応)とつなぐ

デジタル放送をご覧になる場合は、地上デジタル用UHFアンテナやBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナの設置が必要な場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

●マンションなどの共同受信の場合は（→準備編7ページ）

Ⓒ ケーブルテレビとつなぐ

●地上波アナログ放送は本機で受信できますが、番組表を受信することはできません。番組表の受信には BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。（→接続Ⓐ-❸）

CATVホームターミナル/セットトップボックスの接続 ❶❷❸ のあと、テレビとの接続 ❹❺ を行ってください。地上デジタル放送の伝送がパススルー方式の場合、分配器を使ってⒶⒷを接続してください。CATV会社によって伝送方式は異なります。

●上図以外のホームターミナル/セットトップボックスに接続する場合は、CATV会社にご相談ください。

RQCA1579
H1006FJ0

2 もっときれいに、もっと便利に使うには

その他の接続

必要に応じて接続、設定してください。

ビデオとの接続

録りためたテープをBDやDVDに保存するために必要な接続です。

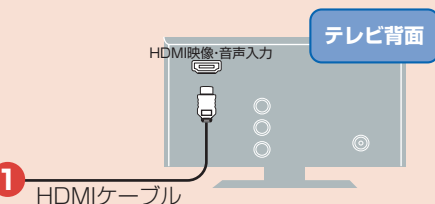
お持ちのビデオデッキと接続したいときは以下のように接続してください。

HDMI接続

HDMI対応テレビと接続すると、本機で録画した番組を高品質な映像でお楽しみいただけます。

別売のHDMIケーブル1本でかんたんに接続ができます。
●テレビとの映像・音声コード接続は不要です。

以下の設定（お買い上げ時）になっているか確認してください。
初期設定「接続」の「HDMI接続」の
● 「HDMI映像優先モード」:「入」（→準備編30ページ）
● 「HDMI出力解像度」を設定する（→操作編104ページ）
● 「HDMI音声出力」:「入」（→準備編30ページ）

テレビ背面
HDMI映像・音声入力
HDMIケーブル

VIERA Linkを使うには

VIERA Linkとは、本機とHDMIケーブル（別売）を使って接続した機器を、自動的に連動させて、1つのリモコンで簡単に操作できる機能です。以下のような操作ができます。**（→操作編22ページ）**
●自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える
●自動的に本機の電源を切る
●テレビのリモコンで本機を操作する

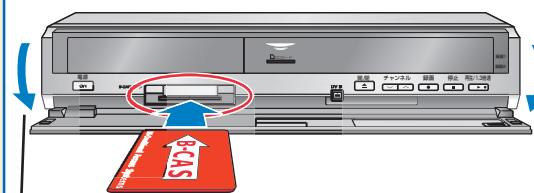
以下の設定（お買い上げ時）になっているか確認してください。
初期設定「接続」の「HDMI接続」の
● 「VIERA Link制御」:「入」（→操作編105ページ）

ご利用のためには、VIERA Link（HDAVI Control™）に対応した当社製テレビ（VIERA）が必要です。

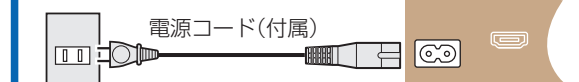
●有料放送（ペイ・パー・ビュー）の視聴や、視聴者参加番組を楽しみたい場合は、本機の電話回線を使った接続をしてください。**（→準備編17ページ）**
●ブロードバンドを利用したサービスや、遠隔操作などの機能を使う場合は、本機をネットワークに接続してください。**（→準備編14〜16ページ）**

3 電源を入れる前に

①B-CASカードを入れる

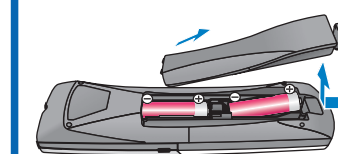
●デジタル放送を受信するにはB-CASカード（付属）を必ず挿入してください。

❶本機前面のとびらを開けて
❷矢印の絵が描かれている面を上にして、その方向に挿入します。

②電源コードを差し込む

電源コンセント
AC100V
50/60 Hz

●電源コードは必ずつないでおいてください。
電源コードは抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

③乾電池を入れる

リモコン裏面のふたを開け、電池（付属）をセットします。

お願い 電池は ⊕⊖をご確認のうえ、正しくセットしてください。

●ふたを閉めるときは、⊖ 側から先に入れてください。

4 電源を入れてみましょう

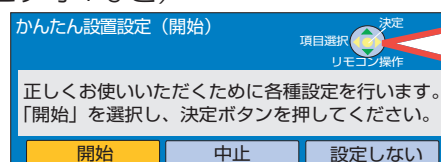
① 音声ガイドで設定

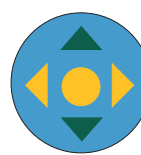
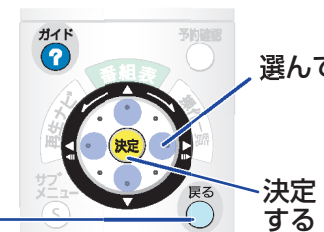
1 テレビのリモコンでテレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える（ビデオ1など）

電源

2 本機の電源を入れる
→右の画面が出る

かんたん設置設定（開始）
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始　中止　設定しない

3 画面メッセージと音声ガイドに従って設定する
●市外局番などを入力するときは、リモコンのふたを開けて数字ボタンを押してください。

操作に必要なボタンが**黄色で表示**されます。

リモコンボタンの拡大図

選んで
決定する
前の画面に戻る

② 操作ガイドをスタート

基本操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。

ガイド

操作ガイドをいったん終了しても、[ガイド?]ボタンを押すと、再表示することができます。

また、? マークが付いた画面が表示されたときに **[ガイド?] ボタン**を押すと、操作に対する補足説明が表示されます。

便利！クイックスタート機能 （詳しくは→準備編25ページ）

クイックスタート機能を「入」にすると、**[番組表] ボタン**を押して約1秒後に番組表（Gガイド）を早く表示するようになります。**（設定方法は→操作編101ページ）**
●ただし、クイックスタート機能を「入」にすると、「切」状態に比べて待機時消費電力が増えるなどの違いがあります。

番組表（Gガイド）を受信する

電源　電源を切る

DATA
（データ受信が始まると "DATA" が点灯します）

地上アナログ放送を含む番組表の受信には、衛星アンテナ（BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナなど）の接続が必要です。

●番組表受信前でも番組表を使わない操作は行えます。ただし、操作後は必ず電源を切って、番組表データを受信してください。
※本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。番組表が表示されるまでの録画について、詳しくは操作編をご覧ください。

詳しく知りたいときは

BD/DVD関連情報は、インターネットのパナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/